

科目分類	基礎分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	日本語表現法	学 期	前 期	川 戸 修 司
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目 的 (ねらい)	コミュニケーション能力向上のためには、自覚的に言語を使いこなす能力が必要とされる。そのために日本語による表現技術や、文章表現についての知識を深め、論理的なコミュニケーションの手段である言語表現を効果的に実現する基礎能力を養う。			
目 標	1. レポート、作文の執筆を通して、自分自身の考えやありかたを振り返る。 2. レポート、作文の執筆を通して、あるべき看護師像を模索する。 3. 社会人として必要とされる日常的な文章作成（原稿用紙の使い方、書簡文の書き方）のマナーやルールを理解する。			
授 業 計 画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	オリエンテーション 私の体験① 私の体験② 私の体験③ 私の体験④ 私の体験⑤ 文学作品を読んで① 文学作品を読んで② 文学作品を読んで③ 文学作品を読んで④ 文学作品を読んで⑤ 論理的文章の書き方① 論理的文章の書き方② 論理的文章の書き方③ まとめ	オリエンテーション (作文の書き方、課題説明) 優秀作品紹介 作文作成	講義/演習/ 課題学習
教 科 書	特になし			
参 考 文 献	特になし			
評 価 方 法	提出されたレポート、作文を通じて総合的に評価する。 100点満点での結果を最終評価とする。			
関 連 科 目	基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、在宅看護論、看護の統合と実践			
自 己 学 習 に 関 する 指 針	自己とその経験について日常的に振り返り、意識的に考える習慣を身に付けるよう、努力していただきたい。			
そ の 他 の 通 知 事 項				